

ソバ春まき栽培における 亜リン酸液肥の葉面散布 による増収効果

農研機構 九州沖縄農業研究センター 原貴洋

本研究の一部は、農林水産省農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究(ニーズ対応型)「畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発」JPJ007964の補助を受けて行った.

豊後高田でのソバ6次産業化





























十割そば ゑつ

手打蕎麦 地慈一Jiji一

認定店

各認定店の画像は、豊後高田市役 所・豊後高田そば生産組合から提供

そばの春まき栽培

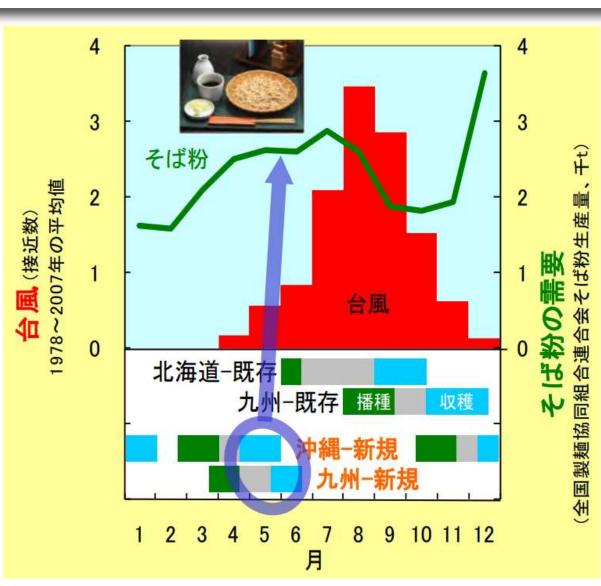


メリット

- 台風シーズン回避
- ・気象リスク分散
- 端境期に新ソバ

課題

複数産地で低収圃場が 散見されており,増収 策が求められている。



出典:農林水産省2015

豊後高田での湿害対策



基本

- 額緣明渠
- 耕うん同時畝立播種
- シートパイプ
- 組織・圃場条件によって
- 石が少ない圃場中心に、弾丸暗 渠、スタブルカルチ、プラソイ ラ等







様々な補助肥料の試行

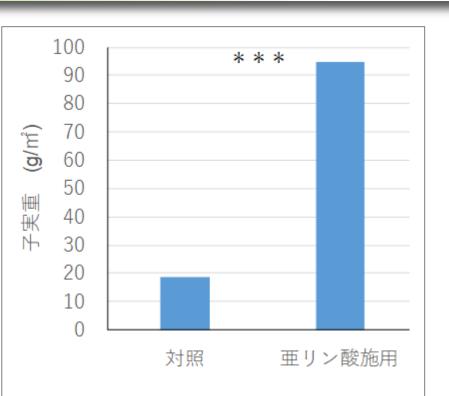


- 17営農組織へのアンケートと聞き取り調査により、生産者の 方々が試行にご関心であった補助肥料12点(葉面散布3,土壌混 和9)をリストアップした。
- 「現場ニーズ対応型」との事業主旨に沿って、生産者の方々の 試行意欲を尊重し加速することが重要と考えた。
- 現地圃場での実験計画法に沿った栽培試験により、これら補助 肥料のソバ増収効果を検討した。



亜リン酸液肥の葉面散布の増収効果(1)





- 市販されている亜リン酸液肥(水溶性りん酸31%、水溶性加里25%)を 使用
- 500倍希釈液300L/10aを、4/27、 5/11、5/18に散布した
- 開花期:5/9

- 図 亜リン酸葉面散布によるソバの増収効果. 4 原ら2023 開花前~登熟期の3回、500倍希釈液を地上部全体に散布した. 乱塊法4反復、***0.1%水準で有意差あり. 4
- ・ 亜リン酸液肥の葉面散布により、ソバ 収量が大きく増加した
- なお、土壌分析の結果、土壌中の有効 態リン酸に不足は認められなかった

亜リン酸液肥の葉面散布の増収効果(2)



- いつ散布するとよいか、を比べて 調べた (500倍希釈液300L/10a)
- 開花期頃の散布の効果が高かった
- 生産者の方々が懸念していた雑草 の増加は認められなかった

開花期:5月10日

【詳細の文献】

「亜リン酸液肥の葉面散布がソバの収量に及ぼす影響」原 貴洋, 藤原 和樹, 森脇 丈治, 中野 恵子, 鈴木 達郎, 望月遼太, 手塚 隆久, 日本作物学会紀事, 2023, 92 巻, 3 号, p. 245-251, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcs/92/3/92_245/_article/-char/ja

| | 亜リン酸 | | 子実重 | 茎葉重 | 雑草重 |
|-------------|-------------|-------|-----------------|-----------|-----------|
| 4月19日 | 4月27日 | 5月11日 | (g/ m ²) | (g/m^2) | (g/m^2) |
| なし | なし | なし | 10.0 | 300 | 81 |
| なし | なし | 有 | 47.4 | 273 | 84 |
| なし | 有 | なし | 13.6 | 290 | 78 |
| なし | 有 | 有 | 71.0 | 255 | 78 |
| 有 | なし | なし | 13.0 | 328 | 82 |
| 有 | なし | 有 | 49.9 | 318 | 71 |
| 有 | 有 | なし | 16.1 | 314 | 87 |
| 有 | 有 | 有 | 57.0 | 309 | 72 |
| 平均値およ | び分散分析 | fт | | | |
| 亜リン酸4月19日散布 | | | n.s. | ** | n.s. |
| なし | | | 35.5 | 279 | 80 |
| 有 | | | 34.0 | 317 | 78 |
| 亜リン酸4月27日散布 | | | ** | n.s. | n.s. |
| | なし | | 30.1 | 305 | 80 |
| | 有 | | 39.4 | 292 | 79 |
| 亜リン酸5月 | 亜リン酸5月11日散布 | | | n.s. | n.s. |
| | | なし | 13.2 | 308 | 82 |
| | | 有 | 56.3 | 289 | 76 |
| 交互作用 | | | n.s. | n.s. | n.s. |

亜リン酸液肥の葉面散布の増収効果(3)





- 8 圃場を用いた実規模試験においても、同様の増収効果を確認できた
- 湿害に伴い根域が制限されリン酸不足に陥っていたソバ植物体が、リン酸を葉面吸収できた可能性



・湿害により低収が見込まれるほ場において、亜リン酸液肥(水溶性りん酸31%、水溶性加里25%)の500倍希釈液300L/10aを開花期頃に葉面散布することで、増収効果が期待できる。

• 作型や栽培環境等の条件によって散布の最適時期や有効程度が異なる可能性がある。

カットブレーカ試行





- 狙い通り、石頻出圃場でも 安全ボルトが一度も折れず 順調に施工できた
- 収量・地下水位・土壌水分 の改善効果は判然とせず、 圃場の排水不良要因に対応 した技術選定の重要性を再 認識

6組織が自ら施工

下層の透水性の評価



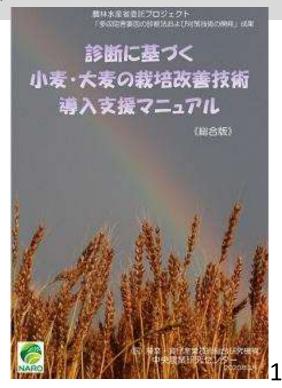


調査方法 ※

- 50~60cm深の穴を掘る
- >30mm雨の2~3日後の地下水位を測る
- ※「多収阻害要因の診断法および対策技術の開発」の成果「診断に基づく小麦・大麦の栽培改善技術導入支援マニュアル」(農研機構2020)に準ずる

- 地下水位が高く、下層の透水性が低いと考 えられた
- 従って、圃場の排水性の改良には、水平方向への排水が望ましい、と考えられる
- 湿害軽減技術としては、現行の額縁明渠と 耕うん同時畝立が最も現実的と考えられる

原ら2021, 日本作物学会講演会要旨集251:120.



期待技術の一例 「カットドレーナー」



- 石礫のある条件でも利用可能
- V字刃による土塊の切断・持上げ・破砕により、約80cmまでの深さに安定して暗渠管を挿入できる。
- 溝の幅が最大60cmであるため、直径30cm未満の石礫が存在していても整備できる。
- 牽引するのに適した車両は、三点リンクを有する90~150馬力程度の大型農業トラクタと、農耕ブルドーザ。



出典:農研機構|カットドレーナー」

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/158118.html

一部圃場での雑草多発への対応検討





タデが完全に優先 (6/2成熟期)



試験的に小型の条間作業機に よる中耕培土を試行



ばら撒き播種(電動施肥播 種機)を試行

引用文献



• 豊後高田市HP

「そばの産地をPR!!」 https://www.city.bungotakada.oita.jp/site/dekigoto/2396.html

「最年少二段が誕生! 一豊後高田流そば打ち段位認定会一」 https://www.city.bungotakada.oita.jp/site/dekigoto/2390.html

- 農研機構2020. 農林水産省委託プロジェクト研究「 多収阻害要因の診断法および対策技術の開発」の成果「診断に基づく小麦・大麦の栽培改善技術導入支援マニュアル」 https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/134377.html
- 農研機構「カットドレーナー」 https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/158118.html
- 原ら2021,日本作物学会講演会要旨集251:120.
- 原貴洋,藤原和樹,森脇丈治,中野恵子,鈴木達郎,望月遼太,手塚隆久 2023. 亜リン酸液肥の葉面散布がソバの収量に及ぼす影響. 日本作物学会紀事92(3):245-251, https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcs/92/3/92_245/_article/-char/ja



ご清聴ありがとうございました

【謝辞】

本研究の一部は、農林水産省農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究(ニーズ対応型)「畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発」JPJ007964の補助を受けて行った.

発表内容についてのお問い合わせ



| 農研機構 | | サイトマップ ▶ お問い合む | | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------------------|-----------------|-------|--|--|
| 農助機構について | 明天体報 | 在学療療・品種・特許 | プレスリリース・広義 | KEZEK | | |
| 九州沖縄農業研究 | S-/ 200/gbe/(8652) | いての名称に合わせ | | , | | |
| 技術についてのお | 問い合わせ | | | | | |
| ※個人情報につい このページでご記 | | お聞い合わせの対応収外 | に利用することはありません | ·., | | |
| お問い合わせ内容(| 8 sh) | | | | | |
| 氏名 [必須] | M | | 8 | | | |
| フリカナ | ter | | × | | | |
| 勤務先・職業・学校 | 名(必用) | | | | | |
| メールアドレス (参 | | 一度入力してくださら。 と入力が増えていますので、 | 確認のラヌ入力をお願いします) | | | |
| 衛話番号 [必須] | | | | | | |

農研機構 九州沖縄農業研究センター 技術についてのお問い合わせ

https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/karc_tech?_gl=1*m4pi46*_ga*MTc1MzUwMTY1MC4xNjQ3NDE0MDA0*_ga_7LKJ8GGK67*MTcxNjE4MDU1MC45Mi4xLjE3MTYxODE4MzIuNTIuMC4w